



看護の臨床における現象を読み解く ～妊娠とがん～

妊娠中がんと診断された方の医療やケアのあり方について、出口雅士先生(神戸大学医学部附属病院)より、検査方法、薬剤使用、妊娠終了のタイミングについての考え方などについてご講演いただきます。さらに、妊娠中の子宮頸がんの症例提示・カンサーボードを行い、エビデンスに基づいた臨床判断過程について検討します。後半は、事例について検討を行い、母性看護領域とがん看護領域の連携のあるべき姿を探ります。

■日時: 2019 年 2 月 16 日(土)13:00～16:00

第1部 13:00～14:30(妊娠とがん(講義)/妊娠中の子宮頸がん症例提示/カンサーボード)

＜対象＞ がん看護および周産期看護に関心のある看護実務経験 5 年目以上の看護職

第2部 14:45～16:00(事例検討)

事例提供者:佐藤 陽子先生(昭和大学保健医療学部・助産学専攻科講師)

(昭和大学病院 総合周産期母子医療センター産科部門・母性看護専門看護師)

＜対象＞ がん看護専門看護師、母性看護専門看護師、CNS コース修了生/大学院生/教員

※講義後、質疑応答の時間を用意しております。

■講師: 出口 雅士 先生

(神戸大学医学部附属病院 特命教授/診療科長補佐)

■場所:兵庫県立大学 明石看護キャンパス(多目的ホール)

* 事前申し込みとなります。

以下へアクセスの上、必要事項(氏名、所属、連絡先、領域等)をご記入の上、**2月7日(木)**までに、兵庫県立大学 がんプロ事務局担当までお申込みください。

<http://apnhyogo.net/seminar/>



— 主 催 —

兵庫県立大学大学院看護学研究科

多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材(がんプロフェッショナル)」養成プラン
(責任者: 内布 敦子)

■講師紹介

●出口雅士（でぐち まさし）先生

2005 年神戸大学大学院医学系研究科博士課程外科学系専攻を修了された後、神戸大学医学部附属病院を経て、2010 年よりスタンフォード大学医学部産科婦人科客員研究員を 2013 年までされました。その後、神戸大学医学部附属病院 周産期母子医療センターで講師・産科部門主任、さらには 2016 年からは神戸大学大学院医学研究科の特命教授として、長く、産科・婦人科のスペシャリストとして活躍されていらっしゃいます。

認定資格等：日本産科婦人科学会専門医／医学博士

<兵庫県立大学 明石看護キャンパス>

<http://www.u-hyogo.ac.jp/cnas/access/index.html>

■所在地

明石市北王子町 13-71

■最寄駅

・鉄道

JR/山陽電鉄 明石駅(バスで約 6 分)

JR 西明石駅(タクシーで約 10 分)

・バス

明石駅北側のバス乗り場から、「がんセンター」方面のバスに乗り、「がんセンター」で下車、バス停西側すぐ



多目的ホールはこの棟の1階になります。

連絡先:兵庫県立大学看護学部内 がんプロ事務局

兵庫県明石市北王子町 13 番 71 号

TEL:078-925-0860 FAX:078-925-0858

E-mail:gan-support@cnas.u-hyogo.ac.jp



兵庫県立大学 大学院 看護学研究科

College of Nursing Art and Science, University of Hyogo